

TOURISM SCOPE

E-book
Volume 25
2013

The Official Magazine of the Tourism Promotion Organization For Asia Pacific Cities

ISSN 1739-5089





Tourism Promotion Organization
for Asia Pacific Cities

Tourism Promotion Organization for Asia Pacific Cities

アジア太平洋都市観光振興機構(以下、TPO)は、アジア・太平洋地域の都市のネットワーク化を図り、観光産業を発展させる目的で創設された国際観光機構です。現在、11カ国71の地方自治体と、観光産業関連協会、研究機関、観光地のマーケティング機関(DMO)など、36の民間団体が会員登録しており、観光産業の活性化に向けて、会員都市間の観光産業に関する情報交換や、観光商品開発、共同マーケティング事業、観光分野の教育及び人材育成事業などの活動を展開しながら、アジア・太平洋の都市観光開発に取り組んでいます。

ご購入は、TPO公式ホームページ <www.aptpo.org>でお申し込みいただけます。

Contents

- 02 **TPO CULTURE & TRAVEL**
慶州で新羅の歴史に出会う
王陵めぐり
- 04 **SPECIAL**
台湾南西部 台南
新旧が共存する街
- 10 **CITY THEME TOUR**
マラッカ世界文化遺産徒歩旅行
- 14 **CITY THEME TOUR**
釜山キーワード旅行
Busan's Hidden Secret
- 18 **TREND & ANALYSIS**
自然とふれ合う 5つのエコヒーリング
ECO HEALING
- 22 **FESTIVAL CALENDAR**
- 24 **TPO NEWS**
- 26 **TPO INTERVIEW**
台湾のチュ・チェン高雄市市長



**18th BUSAN
International Film Festival
3-12 October, 2013**

Welcome to
the Hub of Asian Cinema

아시아 영화의 허브, 부산에 오신것을 환영합니다

ARTISTRY
ARTISTRY





Dynamic
BUSAN



慶州で新羅の歴史に出会う

王陵めぐり

かつての新羅のきらびやかな光栄を大切に保存している韓国の古都、慶州。一時代の歴史を築いた新羅の王家の陵が、慶州の町のあちこちに存在する。歴史の町、慶州で、王陵を巡って歩く旅をした。

慶州と新羅 そして王陵

慶州は、韓国を代表する歴史の町。千年の歴史を持つ新羅時代の首都だったため、町のいたるところに、国宝、史跡、宝物など、数千点の遺跡が散在している。中でも、仏国寺（ブルグクサ）、瞻星台（チョムソンデ）、雁鴨池（アナブチ）などは、外国人観光客にもよく知られている文化財だが、今回、紹介するのは、王族たちが眠る陵だ。市内の中心にある大陵苑（テルンウォン）や、松林の中にある善徳女王陵、平野と調和したような真平王陵など、緑の多い慶州の町には、きらびやかな過去の光栄が、素朴にそして静かにたたずんでいる。

慶州の山々は低く、建物も5階以上のものがないので、町を見渡すのに、視野を遮るものがない。というのも、町の景観を保つため、建物は、瞻星台よりも低くしなければならないとの建築法があるのだ。

陵めぐりをする人々や、山登りから帰ってきて休憩をしている人、あぜ道で昼寝をする猫がいる町、低い山と広い平野、そして丸みを帯びた陵があり、自然を邪魔しない程度に建物がある町、慶州。韓国の古都はこのようなのどかな風景が広がる町だ。

The Royal Tomb

01 3つの陵を散策 三陵

南山地区の三陵溪谷入り口に位置。三つの陵が並んでいることから、三陵との名がついた。陵の周りは松林があり、春にはカラムラサキツツジが満開になる。8代阿達羅王、53代神徳王、54代景明王の墓だと伝えられているが、阿達羅王と神徳王では、約700年の差があるため、別人の陵ではないかという説もある。三陵は同じような大きさをしており、調和美が引き立つ文化財だ。慶州市拜洞に位置するため、拜洞三陵とも呼ばれ、史跡 第219号に指定されている。住所 慶州市拜洞73-1

02 松林の中にある陵 善徳女王陵

新羅の第27代王である善徳女王の墓。善徳女王は、息子のいない真平王の長女で、新羅初の女王。在位16年間、芬皇寺や瞻星台、新羅最大の皇龍寺九層木塔を建てたほか、太宗武烈王となったキム・チュンチュヤ、名将キム・ユシンを従え、三国統一の基盤をつくったことで知られている。善徳女王陵は周囲約73メートルの円墳。円墳の下に2段の保護石が積まれている以外は、特に何も装飾されておらず、他の王陵に比べると、規模も小さい。王陵の近くに、護国寺として知られる四天王寺址や神王王陵などがある。

住所 慶州市普門洞山79-2

03 変わった名の王陵 鳳凰台

路東洞古墳群内にある鳳凰台は、直径82m、高さ22mで、墓というよりはちょっとした高台のような雰囲気を持っている。規模からして、陵（王の墓）だと推定されてはいるが、明らかなことは分かっておらず、名称にも「陵」ではなく「台」が付けられている珍しい古墳。市内中心に位置しており、周辺にはカフェやレストランがある。また、毎週金曜日には鳳凰台を舞台に音楽会も開かれるため、観光客だけでなく、地元の人たちにも人気のスポット。近くには、23基の古墳がある大陵苑や、1921年に新羅古墳では初めて金冠が出土した金冠塚などもある。住所 慶州市路東洞261



04 統一新羅文化の精粹 掛陵

慶州にある多くの王陵は、朝鮮王朝時代や日本植民地時代には、家々の敷地として使用されていた。つまり、1920年代に政府が古墳を整備するまで、慶州の王陵は家屋の下に隠れていたのだ。王陵が再び保存され、歴史的な価値が認められたのは、わずか80年ほど前からのこと。こうして本来の姿を取り戻した王陵の中で、統一新羅文化の精粹を見せているのが、掛陵だ。第38代の元聖王が眠っていると推定されている陵で、十二支神像に取り囲まれている。周りは松林になっており、武士像や獅子像などの石像が陵を護っている。ここが掛陵と呼ばれているのは、墓の穴を掘る際に、水が溜まり棺を掛けて埋めたからだと言われている。

住所 慶州市外東邑掛陵里山17

05 新羅の美学 真平王陵

真平王陵は、明活山と狼山の間、普門洞一帯の高台にある直径38m、高さ6.7mの円墳。墳丘の下部に護石と思われる自然石があるが、これといった王陵であることを示す装飾はなされていない。真平王は、善徳王の父で、新羅の中央官制を整えたほか、慶州の南山城を築造、明活山城を改築するなど、慶州の防衛に注力した王である。594年に隋の冊封を受け、隋が高句麗征討に失敗して滅び、唐になると、百済や高句麗に先駆け、唐の冊封を受けた人物でもある。「私の文化遺産踏査記」の著者、ユ・ホンジュン氏が最も好む陵に挙げたところとして有名。本書は韓国各地の文化遺産を訪ね歩き、美術的、建築的、歴史的に考察しながら解説した書籍で、300万部の売り上げを突破したベストセラーだ。

住所 慶州市普門洞608



台湾南西部 台南

新旧が共存する街

台湾最古の街で、清の時代には台湾の首都として栄えた台南。政治、経済、文化の中心地だったことから、今でも多くの旧跡が残る町として知られている。一方で、台湾第4の都市としての、現代的な顔も持ち合わせおり、新旧の雰囲気一度に楽しむことができる町だ。





古都に出会う 台南

都市に行くと、きらびやかなビルが林立している光景をよく目にする。まるで高さを競うかのようにそびえ立つ高層ビル群は、現代的な表情をしているものの、個性はなく、どれも似たり寄ったりなため、こうした都市の類似化に嘆く旅行者は多い。他都市にはないその地の魅力を感じることができないからだ。

台湾もちろん高層ビルが立ち並ぶ。しかし、台湾でしか感じられない魅力を存分に体感できる町がある。南西部に位置する台南だ。台北、台中、高雄に次ぐ都市だが、どこを見回しても高層ビルは見当たらない田舎町で、清朝時代初期は台湾の首都だったため、町には歴史を感じるものが数多く残る。路地の入り口ごとにある寺院、家々、商店をはじめ、警察署や消防署といった官公庁などは、すべて築100年を越える建物だ。一方で、壁画アートがあったり、ギャラリーやカフェ、パブ、ミニホテ

ルといった現代的な表情も見え隠れしたりして面白い。

漢民族が住んでいた台湾をオランダ人が占領したのは17世紀のこと。漢民族を移住させ、植民地として支配した後は明、19世紀末には日本の植民地になった。これらの歴史の痕跡が、台南には、今もあちこちに残っているのだ。古都ならではの余裕と情緒が感じられ、ゆったりとした時間が流れる魅力的な街だ。台湾旅行といえば、台北や、かつて金鉱の町だった九份、東部に位置する花蓮などが有名だが、新旧が交差する台南も、他エリアとは違った台湾の表情を見せてくれる。

01 芸術的な雰囲気があふれる神農壁画ストリート 02 神農ストリートに並ぶ一風変わった雑貨店。近づいてみると、雑貨の販売と同時に占いもしていた 03 安平地区に位置する天后宮の入口には、願いが書かれた絵馬がかけられていた 04 祀典武廟にて。心を込めて神に祈る女性の姿が印象的だ 05 早朝、お父さんとともにバイクに乗って、神農ストリートを走る子供のきらきらした表情

Temple for Love

台南月老ツアー

1000の寺院があることから「千廟の城」との別名を持つ台南は、唐の時代から伝わる縁結びの神様「月下老人」を祀った、いわゆる恋愛のパワースポットが多いことで有名。月下老人に祈りをささげると、月の光の下、月下老人が未婚の男女に赤い糸を授けてくれるという伝説もあるので、良き伴侶を得たい人は、月下老人が祀られた寺院をぜひ訪れてみよう。



シングルのために 大観音亭

観音菩薩を主祀とする17世紀に建てられた寺院。観音様の前に、未婚の男女に赤い糸を授ける月下老人を祀っている。この月下老人は口が大きく、腰の周りには「百年偕老」、「二姓合婚」と書いた帯を結んでいる。大きい口をしていると仲人に優れているとされていることから、この月下老人は月老界の首位打者とも呼ばれている。パートナーや好きな人がいない人は、お参りをした後、月下老人の赤い糸を大事に持つておくと、ご利益があるといわれている。

住所 台南市成功路86 電話 886-6-228-6720 参観時間 7:00~21:00 ホームページ www.da-shing.org.tw



片思いの人におすすめ 大天后宮

台湾最初の媽祖（天上聖母）を主祀とし、福德正神、土地公とともに月下老人を祀っている宮。特に、片思い中の人にご利益があるスポットとして知られており、想いが叶った人たちがお礼参りにお供えしたウエディングケーキやフルーツが山のように積まれている。一角には、飲めば幸福になると言われる平安茶が準備されている。

住所 台南市永福路2段227巷18 電話 886-6-221-1178 参観時間 6:00~21:00
ホームページ www.tainanmazu.org.tw

仲直りしたい人はここへ 重慶寺

主神は観音様で、他の寺院に比べると規模が非常に小さい。この月下老人は仲直り専門として有名で、恋人や夫婦の不仲や、浮気問題などが浮上した際に効果的。即効力があるため、「速報司」とも呼ばれている。思慶寺で最も有名なのは、醋研と呼ばれる酢の入った甕で、誰かと不仲の時は、この醋研をかき混ぜて、蠟燭を灯す油を相手の額に塗ると仲直りできると言われている。

住所 台南市中正路5巷2 電話 886-6-223-2628 参観時間 4~9月 07:30~18:30, 10~3月 07:30~18:00

夫婦関係が危機状態の時 祀典武廟

大天后宮の近くに位置する、中国三国時代蜀漢の将軍、関羽を神明として祀っているところ。かつては皇帝と高官のための祀典廟だったため、この名がついた。寺院内の月下老人は、相手に異性問題が発生した時に、その縁を切り、安定した結婚生活を続けられるよう助けてくれると言われている。結婚している人だけでなく、恋人がいる人にもご利益がある。

住所 台南市永福路2段229 電話 886-6-229-4401 参観時間 05:00~21:00



Time Machine^{*} Into The Past

安平地区



安寧と平和 安平天后宮

海を掌握する女神である天后を祀った寺院。1668年に建てられて以来、300年近く安平地区の人々の安寧と平和を祈る宮として崇められている。危険や病、不幸から人々を保護する天后とともに、財、子供、長寿を贖える3人の神が祀られているため、多くの人々が訪れる。入口には絵馬が掛けられており、台南の人々の願いが刻まれている。

住所 台南市安平区国勝路33号 電話 886-6-223-8695
ホームページ www.anping-matsu.org.tw

タイムマシーンで過去を時間旅行しているかのような気分させてくれる安平地区は、台南きっての人気観光スポット。オランダ人の痕跡を感じることができる安平古堡をはじめ、ツリーハウス、安平を守護する天后宮、グルメ店がひしめくオールドストリートなど、見どころは、すべて近く集まっているので観光も便利。

ノスタルジックなストリート 安平老街

延平街は安平きって老街（オールドストリート）。約300年前、オランダ人が安平につくった道で、台湾第1ストリートと呼ばれている。迷路のような狭い路地には、海老菓子、アヒルの卵、イカ焼き、タイ焼き、干し柿などを売る店が軒を連ねている。ストリートミュージシャンによる演奏もあり、歩いて楽しい。延平街は安平古堡と天后宮の後方に位置。



一風変わったスポット 安平樹屋

1898年、清の時代に建てられた貿易のための倉庫で、その後もイギリスや日本などが使用していた。誰も使わなくなり、廃墟化した後は、徐々にガジュマルの木が壁をつたい、建物全体を覆うように。今では、「ツリーハウス」として人気の観光スポットになっている。オランダ、清、日本の生活像を展示した小博物館もある。

住所 台南市安平区国勝路108号 電話 886-6-391-3901 開館時間
08:30~17:30 入場料 大人50ニュータイワンドル、学生25ニュータイワンドル



オランダの歴史 安平古堡

もともと台湾の原住民たちの物々交換の場所だったが、1627年にオランダが台湾を占領した際に、赤レンガの城堡を建設。オランダ統治時代には、台湾統治の中心地として、また鄭氏政権時代には王城として使用されたところで、大砲、タンク、爆弾、死刑場、監獄跡が、現在も残っている。展望台からは、安平地区が一望できるほか、博物館ではオランダと鄭成功の戦闘時に使われた武器、図なども見ることができる。夕暮れ時は、望楼で見られる夕日を鑑賞することもできる。

住所 台南市安平区国勝路82号 電話 886-6-226-7348 開館時間 09:00~18:00 入場料 大人50ニュータイワンドル、学生25ニュータイワンドル

Meet The Nature

*

台南エコツアー

こじんまりした台南の森は、一日時間を取って、ゆっくり散策するに最適。朝は緑のトンネルがあるマングローブの森へ行き、昼は湿地にいるサギを観察、夕暮れ時には塩田に映る赤い夕焼けを觀賞することができる台南エコツアーも準備されている。



幻想の塩田夕日 井仔腳瓦盤塩田

かつては、太陽熱がよく吸収できるよう塩田の底にタイルを敷き、大量の天日塩を生産していた、台南一古い塩田。台湾の塩産業界の衰退により、現在は、柄ぶりを引き、塩を採取する昔ながらの塩田体験ができる観光スポットとして機能している。また、真っ白な塩田に映える夕日が絶景スポットとしても有名。特に、天気がいい日はより鮮明で幻想的な色感をかもし出すので、ぜひ訪れたい。敷地内では、1年365日、日にちによって色が違う365の塩土産品も販売している。塩田のすぐ近くにある海岸では、カモメ科に分類される鳥の一種、アジサシの群れが10月から4月にかけてやってくるので、機会があればこちらにも立ち寄ってみよう。

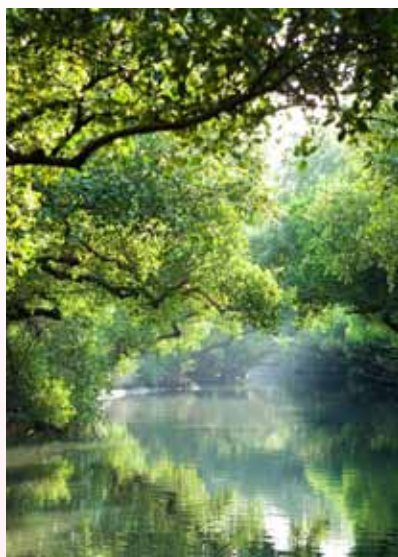
行き方 台南駅からジャリ線のシンナンバスに乗り、ペイメン駅で下車。住所 台南市北門区永華里井仔腳 電話 886-6-786-1629



希少なクロツラヘラサギを鑑賞 黒面琵鷺生態展示館

黒面琵鷺は、和名はクロツラヘラサギ、英名はBlack-faced Spoonbill。餌を探す時、櫓を漕ぐようにクチバシを振ることから、その名がついたと言われている。世界に約2000羽しか存在しておらず、絶滅危惧種に指定されている。韓国では休戦ラインと漢江付近に棲息している。韓国の秋夕(旧盆)を過ぎ、寒い冬に入ると、ベトナム、日本、香港を経て、年中温

かい台南までやってくる。11月から3月にかけて、台南に渡ってくるクロツラヘラサギは約200羽。棲息地付近に位置する黒面琵鷺生態展示館は、クロツラヘラサギについてのさまざまな資料が見学できるところで、生息環境を保護するための研究も行っている機関。クロツラヘラサギはクチバシが長ければ雄、短ければ雌で、年齢を重ねているほど色が濃くシワが多い。寿命は約15年で、海岸や湿地、川などに生息しているが、泳ぐことはできず、水面を歩くのが特徴。展示館から99番の台江線バスに乗り、次の停留所へ行くと、望遠鏡でクロツラヘラサギが観察できる場所がある。広い湿地でクチバシを振りながらエサを探しているクロツラヘラサギを見ると、自然の神秘を感じることも間違いなし。住所 台南市七股区十份里海埔47號 電話 886-6-788-0642 開館時間：09:00~17:00(月曜休館)



ロマンの森 紅樹林 綠色隧道

紅樹林はマングローブ、隧道はトンネル。すなわち、紅樹林綠色隧道とは、亜熱帯地域の河口汽水域の塩性湿地に生える、マングローブによる緑のトンネルを意味する。マングローブは台湾指定保護樹種。実がそこそこの大きさになると水に落ち、そこからまた伸びはじめるのが特徴で、景観も独特。森の規模はそれほど大きくないが、きれいな緑色をしたトンネルはとてもロマンチックで、現在は、ガイドと一緒に小ボートに乗って30分ほどの見学も可能。すぐそばには、明の将軍である鄭成功の部隊とオランダが戦を行った際に犠牲になった慰霊を祀った四草大衆廟がある。

住所 台南市安南区四草里大衆路360號 電話 886-6-284-1610 営業時間 08:00~16:30 料金 大人150ニュータイワンドル 入場料 無料

ホームページ <http://cec.tesri.gov.tw/blackfaced>

Enjoy Local Taste

台南グルメ!

旨い料理が多いことで知られる台南では、スイカが入った魚の鍋や海老やパイナップルで作った甘いデザートなど、珍しいメニューが盛りだくさん。歴史の古い店が多いので、食べ歩きをする際は、看板に記された店の創業年を確認してみよう。



夜食天国 花園夜市

台南の夜市は曜日によって定期的に巡回しており、毎日違う場所で開かれるのが特徴。中でも、花園夜市は規模が大きく、足の踏み場もないほど多くの人でにぎわう。夕方6時を過ぎた頃から次第に活気づいてくる夜場は、食べ物売り場、品物売り場、娯楽コーナーに分かれており、露店は数えきれないほど。品物売り場では、衣類、シューズ、アクセサリ、文房具類、おもちゃなどのショッピングが、娯楽コーナーでは、マージャン、ダーツ、海老つかみなどのゲームが楽しめる。しかし、夜市のハイライトは何といても夜食! 醤油味の焼きとうもろこし、サトイモ入りのタイ焼き、甘い砂糖がかかったイチゴなど、食欲を誘う夜食から、コオロギ焼き、スズメ焼きといった珍味まで、その種類はさまざま。いち押しは棺材板。耳の付いた食パンを揚げ、耳をくり抜き、中にホワイトシチューを入れ、パンの耳で蓋をしたもので、台南に来たら、必ず食べたい市場フードだ。

位置：海安路三段と和緯路三段の交差点



新鮮な海の幸 塩郷

海で取ってきた新鮮な魚介を使った各種料理が堪能できる。中でも、牡蠣で出汁をとった淡泊なスープの中に麺が入った「招牌蚵仔麵線」が人気。また、スイカの塩漬けが入った魚の鍋「西瓜綿鮮魚湯」も有名。井仔腳瓦盤塩田の近くに位置し、塩田体験ができるゲストハウスも運営している。

住所 台南市北門区永華里井仔腳57號

電話 886-6-786-2643 営業時間 11:00~20:00

料金 招牌蚵仔麵線100ニュータイワンドル、西瓜綿鮮魚湯200ニュータイワンドルへ、ホームページ www.salthouse.net



台南きっての名物麵 度小月

1895年にオープンした度小月の看板メニューは「膽仔麵」。さまざまな麺料理があることで知られる台湾だが、とりわけ度小月の膽仔麵は有名。えびで出汁をとったスープに麺を入れ、そばろとゆでえびを上に乗せたシンプルな料理だが、これを求めて全国各地からやってくる。麺だけでは物足りないという人には、そばろをご飯の上に乗せた「猪油拌飯」がおすすめ。

住所 台南市中正路101號 電話 886-6-220-0858

営業時間 11:05~22:30 料金 膽仔麵50ニュータイワンドル、猪油拌飯30ニュータイワンドル
ホームページ www.iddi.com.tw

牡蠣料理を堪能 歐家 蚵仔煎

台湾といえば牡蠣料理が有名で、揚げたり煮たり、火を通して食べるのが一般的。歐家蚵仔煎は、1961年から続く食堂で、牡蠣と野菜を小麦粉で混ぜて焼いた「蚵仔煎」、牡蠣の揚げ物「蚵仔酥」が名物。また、魚のつみれ汁「虱目魚丸湯」もおすすめ。

住所 台南市安平區延平街160號 電話 886-6-222-9340 営業時間 月~金曜日10:00~19:00、土・日曜日10:00~20:00 料金 蚵仔煎60ニュータイワンドル、蚵仔酥100ニュータイワンドル、虱目魚丸湯40ニュータイワンドル



メニューがいっぱい 一串心

野菜の炒めもの、天ぷら、串、焼き物など、メニューの種類は100を越えるため、多彩な料理を楽しむことができる。人気メニューは、やわらかいが歯ごたえがあるシイタケの串もの「烤香菇」と、甘いパイナップルと海老の料理「鳳梨蝦球」。神農街に位置しており、野外にテーブルが用意されている。

住所 台南市海安路二段神農街54號

電話 886-6-221-7727 営業時間 18:00~03:00

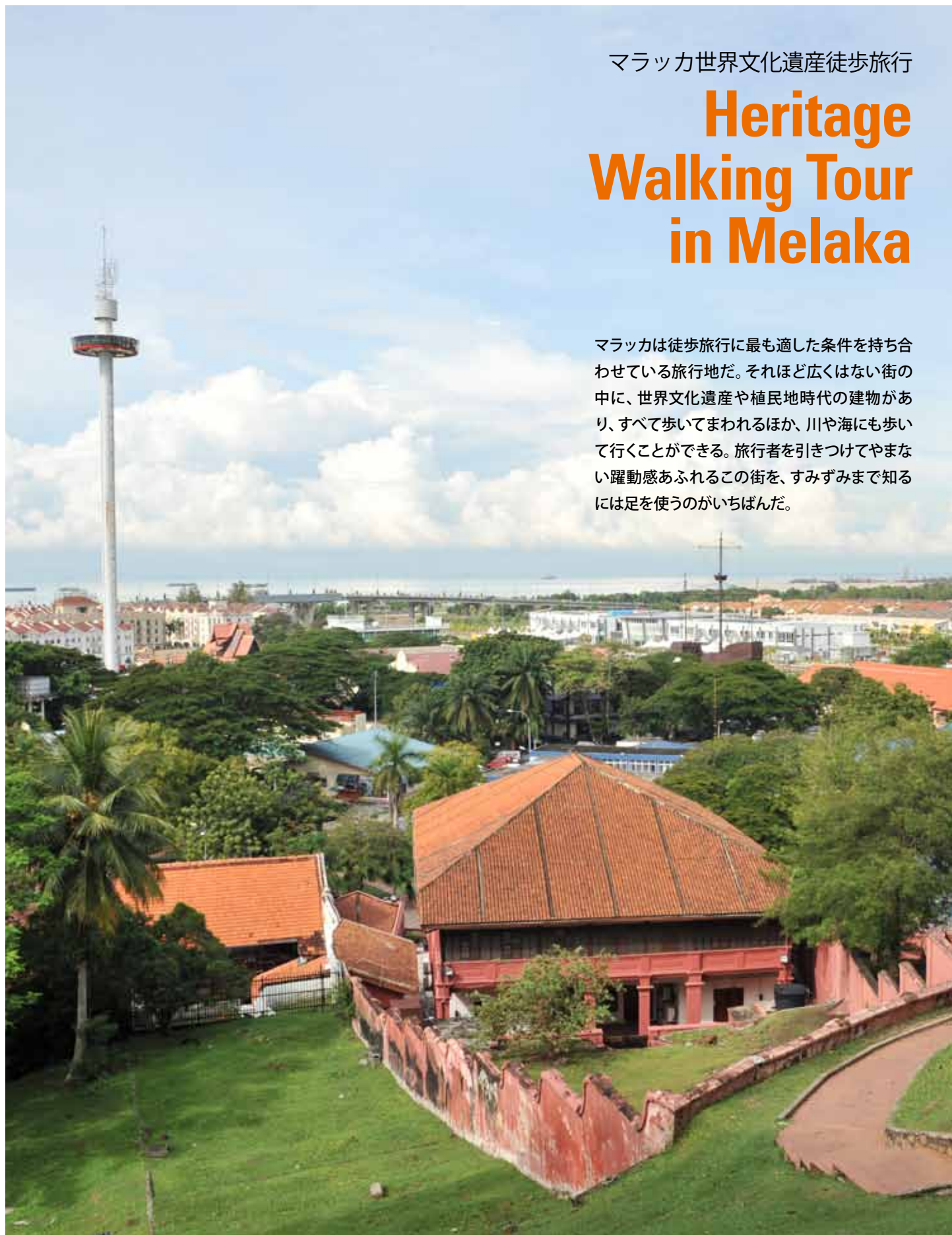
料金 烤香菇30ニュータイワンドル、鳳梨蝦球160ニュータイワンドル



マラッカ世界文化遺産徒歩旅行

Heritage Walking Tour in Melaka

マラッカは徒歩旅行に最も適した条件を持ち合わせている旅行地だ。それほど広くはない街の中に、世界文化遺産や植民地時代の建物があり、すべて歩いてまわれるほか、川や海にも歩いて行くことができる。旅行者を引きつけてやまない躍動感あふれるこの街を、すみずみまで知るには足を使うのがいちばんだ。



文化モザイク マラッカ

マラッカは、マレー半島西海岸南部に位置し、東西交通の要衝マラッカ海峡に面する港町だ。マレーの文化と、かつて貿易王国時代に中国から入ってきた文化、ポルトガル、オランダ、イギリスに支配されていた時に入ってきたヨーロッパ文化など、さまざまな文化が混在している。2008年にはマラッカシティ全体が世界文化遺産に登録され、世界各国から多くの旅行者がやってくる人気の観光地になった。



3

01 ジョンカーストリートに位置するババ&ニョニヤヘリテージミュージアムは華やかな外観が特徴で、多くの人の目を引きつける。02 サイドカー付き自転車、トライショー。公共交通機関が発達していないマラッカでは、庶民や観光客の移動手段として使われている。03 独立記念館建物だが、皮肉にも植民地時代の建物をそのまま使っている。

ニョニヤ料理

ニョニヤ料理はマラッカの郷土料理で、ココナッツミルクなどをたくさん使うマレーシアの伝統料理と中華料理をミックスした家庭料理のこと。「ニョニヤ」とは、15世紀にマレーシアに定着した中国の男性と結婚したマレーシアの女性のこと。



Chap Chye

ガーリックソースをからめた野菜料理



Inche Kabin

ニョニヤ式ソースをからめたフライドチキン



Nasi Puith

ご飯のこと。野菜と一緒に食べることもある



Udang Kuah Pedas

甘辛いソースとパイナップルとえびを煮込んだ料理



Cendol

マラッカに古くから伝わる砂糖「グラ」とココナッツミルク、各種ゼリーが入ったかき氷。好みでフルーツをトッピング

Check Here!

ババ&ニョニヤヘリテージミュージアム

中国系マレーシア人が作った博物館、ババ&ニョニヤヘリテージミュージアムは、100年を超える中国人のマレー半島移民史が保存、展示されている。電話：06-283-1273

開館時間 10:00~12:30、14:30~16:30 入場料 大人10リンギット、5~12歳の子ども5リンギット

ダタランパラワンマラッカメガモール

マラッカには二つの大きなショッピングモールがある。ひとつはマコタパレード、もうひとつはダタランだ。9階建てで、ローラースケート場や、映画館、マクドナルド、アウトレットショップ、ブティック、コスメショップなどが入っている。

営業時間 10:00~22:00 ホームページ www.dataranpahlawan.com

セント・フランシス・ザビエル教会

ゴシック様式のツインタワー聖堂。1849年にフランスの神父ファルベが、カトリックを東南アジアに布教したフランシスコ・ザビエルを賛えるために、16世紀に建てた教会。教会の前にはザビエルの銅像がある。

マレーシア独立記念館

1957年8月31日はマレーシアの独立記念日。かつて、マラッカはポルトガル、オランダ、イギリス、日本の支配を受けた。1985年にオープンした独立記念館はイギリス植民時代の建物をリノベーションしたもので、独立関連の写真や文書、映像などが展示されている。電話 606-284-1231

トライショー

トライショーは、マレーシアの市民の足として親しまれている三輪自転車。トライショーに乗れば、狭い路地が多いマラッカ市内でも、スイスイ回ることができるので、旅行者に人気。花や人形、大きなスピーカーを積んだ派手なトライショーが多い。料金 1時間40リンギット。

クアラルンプールからマラッカへの行き方!

列車 KTMB(Keretapi Tanah Melayu Berhad)が運行しているサウス ライン(South Line)方面の列車に乗って、マラッカのタムピン駅へ。サウスライン列車はマラッカとジョホールバルを通り、シンガポールまで行く。

運行時間 9:00~23:00 料金 1等席60リンギット(エコノミー28リンギット)、2等席26リンギット
ホームページ www.ktmb.com.my

バス クアラルンプールTBS(Terminal Bersepadu Selatan)ターミナルで、マラッカセントラルターミナルに向かうバスに乗る。所要時間は約1時間45分で、午前7時から午後11時まで、15分ごとに発車している。料金は12.3リンギット。ホームページ(www.tbsbts.com.my)で予約できる。クアラルンプール空港(KLIA/ LCCT)から、マラッカ行きのバス(トランスナショナル)に乗る。料金: KLIA出発 大人12.3リンギット、12才以下の子ども9.3リンギット/ LCCT出発 大人21.9リンギット、12才以下の子ども16.5リンギット

運行時間 KLIA出発08:00~23:00、LCCT出発07:30~21:00
ホームページ www.ticket4u.com.my/transnasional/



ポルトガルとオランダ激戦地 ファモサ要塞跡

マラッカのガイドブックの最初のページに紹介されるスポット。門前は人気の記念撮影スポットになっていて、いつも旅行者でごったがえしている。現地の人にはファモサと呼んでいるが、正式名称はサンチャゴ砦。1511年に作られたポルトガル軍の要塞で、オランダ軍とイギリス軍によるマラッカ侵攻時に、激しく破損したが、1670年にオランダ人が復元した。それ以降は誰も管理しなくなったため、現在は門が残っているのみ。周囲を見ると、大砲で撃ち合った跡が残っており、当時の様子を物語っている。要塞を越えると、セントポールの丘とセントポール聖堂へと続く坂の道に入る。

マラッカ旅行のハイライト 世界文化遺産徒歩コース

マラッカは済州島(1848.85km²)より少し小さい1650km²で、マラッカ市内は旅行者が歩いて回れるほどの大きさ。マラッカ徒歩旅行はサンティアゴ巡礼道のように決まったコースがないので、市内をくまなく歩きながら、穴場スポットを探しながら歩きたい。

素朴だが孤高な地位 マラッカスルタンパレス

「スルタン」とは、イスラム教の最高権威者であるカリフが授けた政治的支配者の称号だ。15世紀にマラッカ王族たちが暮らしていたマラッカスルタンパレスは木造建築のため、華やかさよりは素朴さの方が際立つ。マレーシアの伝統建築方式で建てられており、釘は一切使用していないのが特徴。内部には靴を脱いで入ることができ、スルタン時代の歴史の流れが分かるように人形が設置されていたり、写真や絵などが展示されていたりするので、じっくり見学したい。

電話 06-282-7464 開館時間 9:00~17:30 入場料 大人2リンギット、12歳以下の子ども1リンギット ホームページ www.perzlim.gov.my



マラッカーの高さを誇るタワー 展望台

ティーミングサリタワー

高さ80メートル(塔全体の高さ110メートル)、搭乗最大人数77人、搭乗時間7分の360度回転展望台。マラッカーの高さを誇り、タワーからはマラッカ市内を見渡すことができるので、旅行者に人気を博している。

電話 06-288-1100 開館時間 10:00~22:00 入場料 大人20リンギット、子ども10リンギット ホームページ www.menarataming Sari.com



大航海時代跡 海洋博物館

タワーの向い側に停泊している帆船は、マラッカ王国から略奪した宝物とともに海に沈没したポルトガル帆船フォローラ・デ・ラ・マール号を復元した海洋博物館だ。船内には、宝物、マラッカ海洋の歴史、世界各国の船の模型、地図などが展示されている。マラッカは日中暑いので、エアコンがきいた博物館で涼みながら、資料の数々を見学するのもいいだろう。

電話 06-282-6526 開館時間 月曜~木曜日 9:00~17:00、金曜~日曜日 9:00~20:30 入場料 大人6リンギット、子ども2リンギット



ロマンチックな川 マラッカリバークルーズ

マラッカ川では、リバークルーズを楽しむことができる。コースは街中心部までの往復で、途中、川周辺の美しい都市風景を眺めることができる。往復クルーズの他に、途中7カ所ある停留所で自由に乗り降りができるホホウサービスチケットもある。カムプンパンタイ通りやカムプンフル通りは、大小の家々や雰囲気の良いカフェなどが並んでいるので、途中で立ち寄ってみるのもいい。

電話 06-281-4322 営業時間 9:00~23:30 料金 リバークルーズ大人15リンギット、12歳以下の子ども7リンギット ホホウサービス 大人30リンギット、12歳以下の子ども 15リンギット ホームページ www.ppspm.gov.my

クローズアップ マラッカ

スタダイスミュージアムコンプレックス

オランダ統治時代に建てられた建築物の中で最も大きいスタダイスミュージアムコンプレックスは、マラッカきっての観光スポット。オランダ総督の官邸として1650年に建てられた、東洋最古のオランダ建造物であると言われている。スタダイスとマラッカ川を中心に、ユネスコ建築物エリアとジョンカーストリート&浜辺に区分される。スタダイス前は時計塔とビクトリア噴水台があり、市民の待ち合わせ場所になっているほか、土産店も数多く並んでいる。中は、マラッカ王国時期から外勢の統治時代を経て最近にいたるまでの遺物が展示されており、歴史・民族博物館、総督邸博物館、文学博物館、教育博物館、民主主義政府博物館、アドミラルチェンホギャラリーなどがある。

電話 06-284-1934 開館時間 9:00~17:30 共通チケット 大人10リンギット、12歳以下の子ども4リンギット ホームページ www.perzim.gov.my

目で読む宗教の歴史 セントポール聖堂

ファムサ要塞跡とともにマラッカを代表する観光地、セントポール聖堂は、マラッカ王朝を駆逐して占領したポルトガル統治時代に、デュアルテコエーリョによって1521年に建立された建物。ポルトガル人の礼拝堂として、またカトリックの布教拠点として使われていた。しかし、プロテスタント派のオランダとイギリス軍の攻撃により破壊され、その後しばらくはオランダ貴族の墓地として使われたこともある。1545年から1552年まで、フランシス・ザビエルがイエズス会極東アジアの責任者として定期的に訪れ、布教活動を行っていた。1553年、フランシスコ・ザビエルが死んだ際、インドのゴア地方に移葬するまでの6カ月間、安置されていたため、有名になった。



オランダスタイル クライストチャーチ

スタダイスのそばに位置するオランダ建築様式の教会。カトリック派であるポルトガル人が作ったセントポール聖堂の代わりに、1753年にプロテスタント派のオランダ人が建てたもの。オランダがポルトガルを駆逐し、マラッカを占領した100周年の記念事業の一環として1741年に着工し、完成までに12年の歳月を要した。現在は、260年前のオランダ建築を一目みよう、多くの人が訪れる観光スポットになっている。教会内部にはレオナルド・ダヴィンチの「最後の晩餐」の複製画が展示されている。



デー&ナイト ライフ スポット ジョンカーストリート

チャイナタウンのジャラン・ハン・ジェバットは、昔から地元の人たちにジョンカーストリートという愛称で親しまれており、バックパック旅行者の安宿や、300年以上前のアンティーク品扱う骨董品店、ババ&ニョニャヘリテージ博物館、モスク、寺院、かつてのオランダハウス、アーティストの作品が展示されているギャラリー、露店食堂など、ショッピングやグルメスポットが密集しているエリア。入口には、チャイナタウンであることを知らせる大きな龍の造形物があるので、目印になる。ジョンカーストリートを散策する際は、ヒレンストリート、ジャラントウカングベシ、ジャラントウカングエマス、ジャラントングの順に見て回るのがおすすめ。

ナイトマーケット金~日曜日18:00~24:00

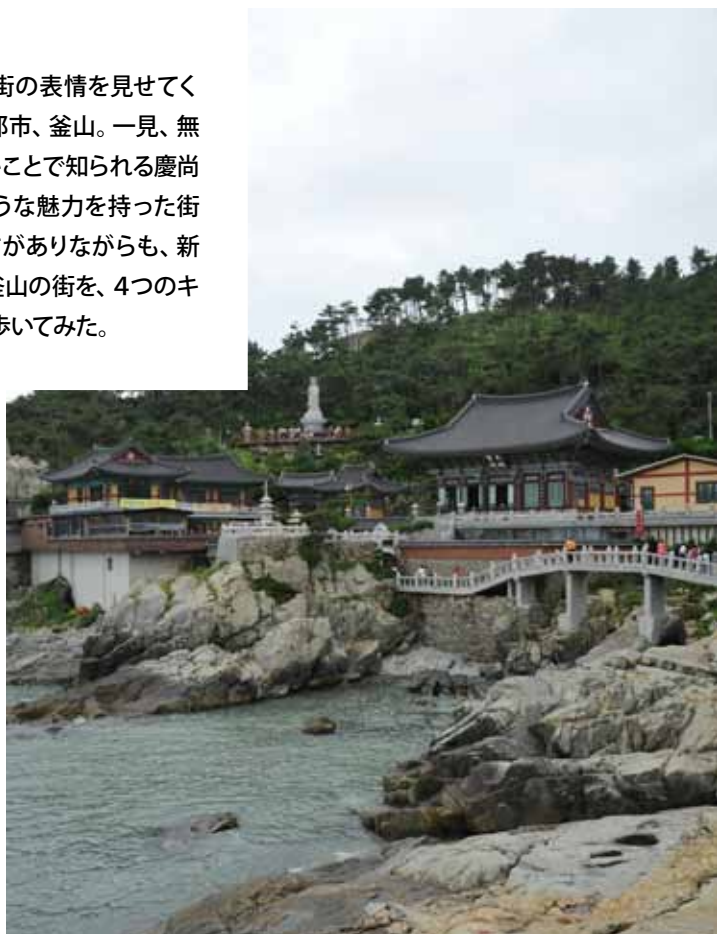




釜山キーワード旅行

Busan's Hidden Secret

訪れる度に異なる街の表情を見せてくれる、韓国第二の都市、釜山。一見、無愛想だが、情が深いことで知られる慶尚道出身の男性のような魅力を持った街だ。どこか懐かしさがありながらも、新しさも感じられる釜山の街を、4つのキーワードに沿って、歩いてみた。



Keyword 1
ストーリー
テリング

物語のある道

釜山をはじめとする韓国南部地域の暮らしや文化、歴史を感じるには、自然の中に身を置くのが一番。南海岸観光活性化事業の一環として2009年に造成されたストーリーテリングコースを訪れると、より豊かな釜山の旅を楽しむことができるだろう。



海の上のドラマ ロードストーリーツアー

釜山北部の機張から影島にかけては、美しい海岸と青い空、そしてドラマチックなストーリーがある観光コース。



海東龍宮寺

海東龍宮寺は、広大な海にある岩山に建てられた寺で、水上法堂とも呼ばれている。高麗王の師であった懶翁大師が1376年に創建した。文禄・慶長の役の際に、焼失したが、二度にわたって復元工事が行われ、今の姿に。波の上に寺が浮いているようにも見えるその姿は圧巻。

住所 釜山市機張郡機張邑サラン里416-3 **電話** 051-722-7744 **入場料** 無料 (駐車2000ウォン) **ホームページ** www.yongkungsang.or.kr

機張邑大辺

機張郡機張邑大辺里にある大辺村は、韓国の「美しい漁村100選」にも選ばれた港町。かつてヨンアムと呼ばれたこの辺は、イワシが取れることで有名。荒波で知られる東海に位置しているが、目の前に竹島があり、波の防壁の役割を果たしているため、港は意外と静か。大辺里海岸には、刺身料理屋がずらりと並び、イワシの刺身やウナギの蒲焼きなどが名物。

行き方 海雲台駅7番出口で181番バスに乗り、大辺入口停留場で下車



歴史を感じる 平和と戦争ツアー

文禄・慶長の役や朝鮮戦争などの戦地となった外洋浦村を見学しながら、韓国の近代史に触れるコース。



外洋浦村

外洋浦は、釜山にある島の中で最も大きい加徳島の最南に位置する村で、現在、20軒の家に30世帯が暮らしている。家々は、約100年前に建てられた憲兵隊テント、武器倉庫、将校社宅、兵士内務班など、すべてかつての司令部関連建造物で、中には、日本伝統家屋の面影が残るものもある。小さな漁村だが、韓国近代史の傷が未だ色濃く残る村だ。

行き方 ハダン交差点から加徳島行きの58番バスに乗って船着き場まで行き、船に乗る (一日4回運航) **乗船料** テハン1500ウォン、外洋浦2000ウォン

自然にふれる 釜山エコツアー

自然・環境・歴史などにふれることができる都会の穴場的観光スポット。さまざまな体験プログラムが用意されているコースとしても有名だ。



洛東江河口エコセンター

洛東江河口生態系保全のために、さまざまな研究と活動をしている機関。自然と人の共存をテーマに、干潟体験、野生動物診療体験、湿地探訪などの各種プログラムや、展示会などを開いており、家族旅行先としても人気。

行き方 地下鉄1号線ハダン駅3番出口で市内バス58番、58-1番、58-2番に乗り、ウルスク島サーブیسエリア停留場で下車。徒歩5分 **電話** 051-888-6861 **ホームページ** wetland.busan.go.kr

馬耳山展望台

2011年2月21日に開館した馬耳山展望台は、洛東江の全景が見渡せるビューポイントで、砂の島や渡り鳥なども鑑賞することができる。季節ごとに違った洛東江の姿が見られるほか、釜山で最も美しい夕景スポットとしても有名。ギャラリーのほか、カフェテリアもあるので、夕焼けと一緒に茶も楽しみたい。

住所 釜山広域市沙下区タデナクチョ2ギル **電話** 051-265-6863



Keyword 2

若手による
アート

感性をみがく旅

釜山の姿を垣間見たいなら、アートの旅がおすすめ。若手アーティストたちの才能と息吹を感じながら、奥底で眠っている感性を呼び覚まそう。



釜山のモンマルトルの丘 月見ヶ丘文化ストリート

タルマジコゲ（月見ヶ丘）は、フランス芸術の中心地、モンマルトルの丘の釜山版とも呼ばれ、海雲台海岸の近くに位置している。ここには個々の特色を出した展示を行う13軒のギャラリーがあるほか、各種コーヒーチェーン店やカフェ、レストランなどもある。海雲台の海岸から松亭までの曲がりくねった道は、桜と松林があり、散歩を楽しめるコースになっている。

行き方 地下鉄1号線海雲台駅、タクシー利用(基本料金)バス利用時ノボータルホテルの前で徒歩15分



さまざまな色彩が折り重なった町

甘川村文化村

レゴブロックで建てたような色とりどりの家が多いことから、「釜山のレゴ村」と呼ばれているほか、ギリシャのサントリーニにも例えられている甘川洞文化村。もともとは「太極道」という新興宗教を信じる人々によって1958年に作られた村だが、2009年、区の助成により芸術村になった。<夢を見る釜山のマチュピチュ>、<迷路米で路地プロジェクト>などの美術プロジェクトが行われ、アーティスト、住民、学生たちによって、家が1軒ずつカラフルにペイントされた。また、村内には、壁画や造形芸術、空き家を利用した文化空間などもある。

行き方 地下鉄土城洞駅6番出口、釜山大学病院癌センター前からマウルバス2番・2-1番・1-1番/クエジョン駅6番出口、クエジョン交差点ニューコアアウトレット向い側からマウルバス1番・1-1番 **電話** 村情報センター「ハヌルマル」070-4219-5556 **ホームページ** <http://cafe.naver.com/gamcheon2>

文化のすべてがここにある

キムスアートフィールド美術館

釜山北部といえば、クムジョンマッコリとクムジョン山城が有名だが、アートに関心があれば、ぜひキムスアートフィールド美術館を訪ねてほしい。釜山大学芸術学部のキム・ジョンミン教授の生活空間兼スタジオで、展示場も備えている。館内では、キム教授の彫刻作品やインスタレーションが鑑賞できるほか、奇抜なアイデアの企画展も開催している。また、ピカソ、アンディウォーホル、キースヘリング、イ・ジュンソプ、ミックマウス、ドゥリー、クレヨンしんちゃんなどが描かれた村竹林の壁画ストリートも一緒にまわりたい。

住所 釜山市金井区金城洞285(竹田1ギル23) **電話** 051-517-6800 **ホームページ** www.kafmuseum.org **開館時間** 4~8月10:00~18:00、9~3月10:00~17:00(月曜日休館)



一度は訪ねてみたいスポット 慶星大文化ストリート

釜山の若者たちのホットプレイスである慶星大・釜慶大前にある文化ストリート。住宅街の路地裏にあり、入口は全部で3カ所。80席の小劇場「ヨンチャンチラ」、採光がきれいな展示会場「ザクロ院」、2万枚のCDとLPを所蔵しているミュージックパブ「老歌多」、伝統酒が飲める「コパン」、ウイスキーやカクテルが楽しめるオリエンタルバー「色界」、庭園カフェ「タパン」など、個性あふれるアート空間や店がたくさんあるので、1日かけてじっくり回ってみよう。

行き方 地下鉄2号線慶星大・釜慶大前駅1番出口 **住所** 釜山市南欧大淵3洞52-4 **電話** 051-625-0730



釜山で温泉を楽しむ! 東萊温泉露天足湯

釜山といえば、海雲台と南浦洞がメイン観光スポットだが、一足のばして、東萊まで行くと、温泉を楽しむことができる。釜山有数の温泉地で、日本の温泉水に勝るとも劣らない炭酸温泉水を堪能することができる。温泉街には、地元の人々に親しまれている露天無料足浴施設も。すぐ近くにタオルの自動販売機があるの

で、持参していない人も安心。温泉につかりたいなら、近くの万寿湯、鹿川湯、天日湯、現代温泉、中央温泉、ホシムチョンなどがおすすめ。

行き方 鹿川ホテルのすぐそばに位置 営業時間 10:00~20:00

月光マッサージ・月光散策 月光ロード

日光浴ならぬ月光浴ができる道。総距離は2.5kmで、月光コッチャムコース(0.4km)、月光カオンコース(0.4km)、月光パツコース(0.7km)、月光ハムケコース(0.5km)、月光マンナムコース(0.5km)の5つに分かれている。夜は、月の明かりの邪魔にならない程度の照明が森に灯り、幻想的で恋人たちのメッカになっている。照明が灯る時間は日没後から23時までと、明け方5時から日の出まで。車で訪れる場合は、ミポハンに止めておくが便利。

住所 釜山市海雲台区中東 電話 051-749-4081 ホームページ <http://moontan.haeundae.go.kr>



Keyword 3

グリーン
ヒーリング

癒しの時間

自然豊かな釜山は、日常のストレスから解放され、休息を満喫したい人にぴったりの街。緑に囲まれながら、体も心もじっくり癒したい。



Keyword 4

多彩な食べ物

グルメを求めて 釜山探索

魚介が豊富で、食材には事欠かない釜山に来たら、グルメ探訪に出掛けるのがおすすめ。おいしそうな食べ物がずらりと並ぶ路地で、お気に入りのグルメ一品を見つけよう。

グルメの聖地

PIFF うまいもん通り、富平洞チョッパール通り、昌善洞うまいもん通り

釜山で本当においしい店に行きたいなら、PIFF うまいもん通り、富平洞チョッパール通り、昌善洞うまいもん通りの3カ所を訪れよう。PIFF うまいもん通りでは、ひまわりの種・ピーナッツ・乾葡萄・ビスタチオ入りの「ホットク（韓国式ホットケーキ）」、富平洞チョッパール通りでは、鼻先がつんとする辛ソースとさっぱりした冷菜が良く合う「冷菜チョッパール（豚足）」、昌善洞うまいもん通りでは「ビビタンメン」が、それぞれ名物。なお、PIFF うまいもん通りのホットクは、人気番組<1泊2日>で、俳優のイ・スングが立ち寄ったことから、店名がスングホットクに変更されている。

行き方 地下鉄1号線チャガルチ駅から徒歩10分



釜山のグルメ3

赤貝

12月から4月にかけて、洛東江河口で取れる。旬は産卵を控えた1~3月。あっさりとしたいい出汁ができるので、汁物やチゲにするほか、焼いたり炒めたりして酒のあてにすることもある。



草梁ミルミョン

ミルミョンとは、小麦粉とサツマイモやジャガイモでんぷんで作った麺のこと。味が良く、価格もリーズナブルなので人気。あっさり味の水ミルミョン、辛いビビンミルミョンはともに3500ウォン。また、注文すると山盛りで出てくるギョーザ3500Wも名物。釜山駅の向いにあるので、釜山を立つ前に必ず食べたい。



機張あわび粥

機張にある刺身料理店。特に自然産のアワビで作ったお粥は香り豊かで、品がある味だと評判。アワビのキモ入り粥はコクがあって、他では味わえないおいしさ。お粥と一緒に出てくるカクテキ（大根キムチ）も一品。



自然とふれ合う5つのエコヒーリング

ECO HEALING



最近、旅のテーマとして人気を博しているのが「ヒーリング」。ついこの間までは、肉体的に健やかであることを意味する「ウェルビーイング」が健康の代名詞だったが、近頃は精神的健康を強調する「ヒーリング」に人々の関心は移行しているようだ。テンプルステイ、自然休養林、トレッキングなどは、癒しの旅、つまりヒーリング旅行として注目されているが、そもそもヒーリング旅行とは何だろうか。アクティブに動くことであれ、静かな場所に行くことであれ、そこで癒されさえすれば、立派なヒーリング旅行なのだが、あえて定義づけをするなら、自然の中に身を置くこと、ではないだろうか。自然の力に癒されてこそ、真のヒーリングといえるのかもしれない。

今のトレンドは健康的な旅行

今、健康がトレンドになっている。インスタントフードを断ち、菜食者になったり、まるでコンビニへ行くかのように、気軽に病院へ行き、人間ドックを受けたりする人が増えている。通りを歩いていて、瞑想スタジオの広告看板をよく見かけるのも、ブームゆえのことだろう。体にいいものを食べて、楽しく暮らすことが、重要視される時代なのだ。そんな時代だからこそ、旅のテーマも変化している。強行スケジュールを組み、短時間でたくさんのところを巡る旅は、もうこの時代においては旅とはいえない。それよりは、自然(エコロジー)の中で、治癒(ヒーリング)される、エコヒーリング旅行が、弾丸ツアーにとって代わって、最近の旅行のトレンドになっているのだ。言葉通り、自然の中で治癒力を回復し、体と心を健康にすることがその目的である。裸足で土を踏み、足の裏から伝わる大地の気運を感じたり、森の樹木が発散するフィトンチッドを思う存分、吸い込んだりすると、さわやかな気分になり、体もみるみる軽やかになるのを感じるだろう。TPO会員都市でも、それぞれに自然治癒、すなわちエコヒーリングを先導しているので、紹介することにしよう。



幸せな時間を満喫 ベトナムダナンビーチ

長さ50キロメートルにもおよぶダナンビーチは、アメリカの経済誌<フォーブス>の「世界6大ラグジュアリービーチ」にも選ばれた、美しくのどかなところだ。中でも、ホワイトサンズと呼ばれる白砂のビーチはうっとりするような美しさ。ダナンビーチはダナンベイ、ソントラペニンシュラ、イーストシーの3エリアに分かれている。ダナンベイはダナン中心部北に広がる全長12キロのビーチで、ナムア、シュアンティウ、タンウィーンに、さらにそれぞれ分かれている。観光客に一番人気はイーストシーだ。20キロ以上にわたる白い砂浜が続いており、早朝から夜遅くまで多くの人々で込み合っている。青い森が茂るソントラペニンシュラは、半島を囲むようにして、6つのビーチを保有しており、美しい景色が満喫できるほか、水泳、釣り、トレッキング、ダイビングなど、様々なアクティビティーが楽しめることで有名。

エコの中心ネイチャーリゾート コタキナバル

マレーシアはボルネオ島の北端に位置するサバ州の中心都市、コタキナバル。ここはまだあまり知られていないが、白い砂浜と美しい海、そして大自然が満喫できる上級リゾート地だ。

港から船に乗り、コタキナバルの近くにある5つの大きな島の一つ、カヤ島に向かった。ジャングルの中に位置するブンカラヤアイルランドリゾートを訪れるためだ。白浜とエメラルドグリーンの海を横目に、ジャングルの中に入ると、遠くにヴィアラがぼつぼつと点在しているのが見える。電動バギーに乗って、ヴィアラまで移動すると、花に囲まれたリゾート内に到着する。約40種類にもおよぶ野生の花々がきれいに咲いているのだが、特にマレーシアの国花であるハイビスカスが美しいので、散策しながら観賞したい。

ヴィアラはジャングルの中の高い木の横に位置。驚いたことに、客室にも木が生えている。というのも、自然を破壊しないよう、木を伐採せずにヴィアラを建て、リゾートを作ったからだ。こうした自然に配慮したデザインが認められ、2010年にはマレーシア建築授賞式にて、リゾート部門賞を受賞したという。



気候がよく暖かい場所 日本宮崎

3月になると半袖で外出ができる、九州の宮崎。冬は乾いた西風が卓越し、晴天の日が多いので、ヒーリング旅行先にはぴったりの場所だ。どこを旅する時もそうだが、やはり気候はいいに越したことはない。それに加え、東・北東アジアでは感じられないエキゾチックな雰囲気も持っていて魅力的だ。

空港を降り立ち、街に出ると、潮の香りが漂い、ヤシの木をはじめとする亜熱帯樹木が目飛び込んでくる。熱帯や亜熱帯の気風を沖縄で楽しむ人が多いが、そこまで行かずとも、宮崎でも十分に満喫することができる。

宮崎県にはヒーリングスポットがいくつかある。中でも人気は、日南海岸の北端に位置する小島、青島だ。約1000万年から800万年前の地層が、侵食により独特の形状に変化し奇岩し、島を取り囲んでいるのが特徴。その奇岩の形状が、洗濯板に似ていることから「鬼の洗濯板（鬼の洗濯岩）」と呼ばれ、観光名所になっている。

また、「鶴戸さん」の愛称で親しまれている鶴戸神宮もヒーリングスポットのひとつだ。日南海岸の岬の突端、日向灘に面した自然洞窟の中に位置しており、本殿は約300坪もの広さを持つ岩屋の中にある。神武天皇の父を主神とし、多くの神様を祀っているが、特に安産にご利益がある神宮として有名。また、絶壁の下には亀岩と呼ばれる岩があり、この岩の窪みに運玉という石をあてることができると、願い事が叶うと言われていることから、多くの人が挑戦する。南国情緒あふれる宮崎は、冬暖かく、夏は湿気が少ないのが特徴。年中過ごしやすいので、いつでも気が向いた時にヒーリング旅行に出かけることができる。

海の果てにある癒しスポット 中国三亚

中国の地の果て、海南島の南端に位置する三亚。ここは、熱帯の気候と美しい海浜で知られるほか、外資系の高級ホテルが立ち並び、中国で最も「ホット」なヒーリングスポットとして注目を集めている。景勝地がいたるところにあるが、中でも中心部から西に約23キロ行った先にある、海岸沿いの「天涯海角」が有名。天涯海角とは、天と地の果てという意味で、日の出や日の入りの光景が美しいところだ。2.8キロ続く海岸には、大小の岩が立ち並んでいる。まるで彫刻のようなそれらは、女性の体のような曲線を描いており、それぞれに「南一天柱」、「天涯」、「海角」といった文字が彫られている。これらは、かつて、島流しにあった役人や将軍たちがはるか彼方の帰郷への思いをこめて刻まれたものだと言われている。現在、ここは、カップルたちのデートコースになっているほか、お正月になると、地と天の果ての岩を一目みよう、中国全域からたくさんの人がやってくるヒーリングスポットになっている。



韓国山寺での一日 テンプルステイ

韓国の伝統仏教文化を体験するテンプルステイが人気で、寺院を訪れる人が後を絶たない。テンプルステイとは、韓国の伝統寺院に泊まりながら、約1700年の歴史を持つ韓国仏教文化や伝統にふれる文化体験プログラムだ。中には、坐禅を組み、しばし俗世を離れて瞑想したり、僧侶の話しを聞き、生きる知恵や活力をもらったりするために、テンプルステイに参加する人もいる。テンプルステイは老若男女、誰でも参加することができるが、ここ何年は、韓国文化に高い関心を持っている外国人の参加者が急増している。ステイ中は、礼仏、鉢盂供養、参禅、茶道、108拜の修行、僧侶との対話、燃燈作りなど、実に様々な体験ができる。また、伝統文化財を見てまわることができる寺院巡礼や、体と心の健康を守る禅武道などのプログラムを準備している寺もあるので、参加する前に内容をよくチェックしておこう。

テンプルステイを実施している寺は、韓国全土にあるが、ほとんどが山寺で、寺院の周辺は緑豊か。自然に抱かれながら、韓国の伝統仏教文化にふれると、最高のヒーリングになるだろう。



ヒーリングの旅に出掛けると自分のことがわかる

高層ビルが林立する都市の中で、めまぐるしい日常を送る現代人にとって、休息とは一体何だろうか。彼らが旅に出る理由とは一。もちろんさまざまな動機があるだろうが、忙しない日々の中でフル回転している心と体を休ませるために、しばし日常を離れるという人が圧倒的に多いのではないだろうか。そして、そのほとんどの人が向かう先は、自然の中にあるリゾート地だ。太陽の光が照りつける浜辺で、のんびりとした時間を過ごす。体が疲れている時は何も考えず、楽しく遊び、思う存分食べて、ぐっすり寝るに限る。すると、そのうち水の音や風の音、鳥の鳴き声が意識せずとも耳に入ってくるようになったり、お茶を楽し

む余裕が生まれてきたりする。つまり、ヒーリング旅行とは、今の自分がいる場所、見ているもの、食べているもの、心の声などをはっきりと認識するための休息だといえるかもしれない。いいかえれば、本当の自分を取り戻す旅なのだ。だから、ヒーリング旅行から帰ってきたら、元気になる人が多い。

上記で紹介した5つのヒーリング旅行はそれぞれタイプが異なるが、どれも目的は心と体を楽しませることだ。真のヒーリングとは一。今、自分がいる場所で、最高の喜びと楽しみを味わうことなのではないだろうか。



ソウル, 韓国

TPO Travel Trade 2012-KOREA 開催

去る12月10日、韓国ソウルでTPO韓国海外共同マーケティング(TPO Travel Trade 2012-KOREA)行事が開催された。

今回の行事にはTPOの日本会員都市である下関、武雄

(加入予定)、中国会員都市である広州、三亜、マレーシア会員都市であるコタキナバル、ロシア会員都市であるウラジオストク、台湾会員都市である台中など計7つの会員都市が参加した。これらの都市は韓国の主要旅行会社を直接訪問し、各都市の観光資源を広報して韓国の観光客を誘致するための多様なインセンティブなどを提示した。

これら参加都市は韓国を代表するハナツアー、モドゥツアー、ツアー2000など3つの総合旅行会社を訪問して、各都市の最新広報物とニュースを直接伝達、説明してセールスミッションを遂行した。また、10日夕方には訪問した旅行会社の各バウンド別商品担当者らと共にTPO会員都市である釜山市観光説明会を開催し、旅行市場の最新動向と現場の意見を把握し、韓国旅行業界と交流する時間を持った。

一方、TPOは今回の行事を通じて、韓国の主要旅行会社との協力基盤を拡大し、今後多様な協力活動を進める計画だ。



釜山, 韓国

TPO事務局、TPO年末隣人と共に する文化分かち合い行事開催

去る12月27日、TPO事務局は釜山市に所在する児童福祉施設である東山園の職員と子供60人余りを釜山海雲台スポンジに招請してTPO年末隣人と共にする文化分かち合い行事を開催した。

今回の文化分かち合い行事では東山園の職員と子供たちに夕食と、新年贈り物贈呈式および映画観覧の機会を提供した。子供たちは最近公開された「レ・ミゼラブル」、「ホビット」などの映画を観覧し、一緒に食事をして楽しい時間を過ごした。

この日の行事で2009年から持続的に開催されている本行事に対する感謝の印として東山園の園長から感謝牌が授与された。TPO事務局側は毎年隣人と温情を分かち合う行事を引き続き開催する計画だ。

全州, 韓国

TPO Tourism School 2012開催

TPOと韓国の全州市が去る12月11日から13日、全州市伝統文化の殿堂、ジャズアラウンドホテルおよび全州市一円で6ヶ国16都市のTPO会員都市の観光公職者と共に「TPO Tourism School 2012」を開催した。

初日、11日の行事はTPO会員都市の観光公職者だけでなく、全州市民、公務員、観光関連業者および観光教育機関の関係者など80人余りが参加した中で「地域観光産業の発展のための文化観光政策」をテーマに特講形式で行われた。基調講演者として出た韓国文化観光研究院のパク・グァンム院長が地域観光産業の活性化のための地方政府の文化観光政策を紹介し、韓国観光レジャー学会のユン・ビョンイン学会長は座長として地域観光産業の発展のための地方政府の文化観光政策討論会を導いた。

翌日12日午前には湖西大学校ソン・ジェボク教授の「国際機構を通じた地域観光産業活性化方案の研究-全州市のビビンバのユネスコ登録を中心に」というテーマで講義が進められ、全州市庁チョ・ヨンホ係長の「国際機構を通じた地域観光産業活性化方案の研究-全州市のスローシティ加入事例」事例発表が行われた。

また、12日午後と13日午前には全州市の観光産業施設視察プログラムで全州市の観光資源を見直す時間を持った。

観光分野公職者の観光産業管理能力の培養と観光政策の開発のために開催される「TPO Tourism School」は、観光分野の実務責任者が現在進められている事業を中心にプログラムを進め、教育参加者の関心度が高く効率的な実務教育になっている。





益山, 韓国

TPO会員都市、地域観光活性化のためのストーリーテリングセミナー開催

去る11月6日と7日の両日、TPO事務局と全北益山市は圓光大学校で益山市民、公務員、学生、観光関連業者と団体と共に、会員都市の地域観光産業活性化案を模索するために「ストーリーテリングによる地域観光産業活性化セミナー」を開催した。

この日の行事で韓国の代表的ストーリーテリング学者である慶熙大チェ・ヘシル教授の「ストーリーテリングでつながる文化遺産、文化コンテンツ」そして地域の専門ストーリーテリング学者であるパク・テゴン教授の「オーラル・ヒストリーを活用したストーリーテリングと益山地域の観光活性化案」という題名で発表が行われ、安東の代表的な文化観光テーマ旅行会社代表リュ・スング氏のストーリーテリング安東事例と示範が披露された。引き続き、総合討論では韓国観光レジャー学会ユン・ビョンイン学会長が座長を引き受けて学界、言論界、業者ストーリーテリング専門家たちと共に「ストーリーテリングによる益山地域の観光産業活性化案」というテーマで熱を帯びた討論を行った。その中で益山の歴史と文化を加味したヒーリング益山、治癒の道益山、薯童謠の民衆ファンタジー、ストーリーテリングの接近方法にともなう観光客の共感、文化観光ストーリーテリングの価値伝達方法など多様な意見と提案が出された。

益山市関係者は「今回のセミナーで導き出された実質的な案を益山市の観光に適用し、現在不足しているハードウェア的な観光インフラ施設を補完することができるようにすれば、文化資源を観光客が消費と共有が同時に成り立つように観光マーケティングを積極的に推進する計画だ」と話した。

また、TPO事務局パク・スンジェ次長は今後も会員都市の観光活性化のための多様な活動を行う計画であり、特に文化観光資源を活用した地域観光業者の活性化のために努力すると付け加えた。

イスタンブール, トルコ

TPO事務局、UNWTO準会員総会に出席

UNWTO(世界観光機構)準会員(Affiliate Member)総会が東洋と西洋の接点地域であるトルコのイスタンブール市'Halic Congress Center'で11月14日から16日まで65の準会員機関、800人余りの観光専門家たちと観光業界の代表が参加した中で開催された。準会員総会は既存の正会員である各国中央政府の他に各種観光関連国際機構、地方自治体、観光業界および学界など多様な機関が総網羅した観光分野の総合的な団体で、今まで多様な意見をもって世界観光機構の活動に積極的に協力してきた。

今回の総会は会員たちの多様な意見を取りまとめた全体的な方向性と具体的な事業を確かめるために開催された。TPOは今回の総会で準会員の組織構成と活動により積極的に参加することにし、TPO機構の紹介と共同事業を広報した。特に、アジア太平洋地域の会員たちとの緊密な協力関係を通じて、TPO会員たちにも役立つプログラムと一緒に進める計画であり、来年大田総会にUNWTO事務総長をはじめとする関係者たちを招請して一緒に総会を進める予定だ。

TPOは2008年からUNWTOの準会員に加入してTourism School、Newsletter、講演会の開催など多様な事業と一緒に進めてきた。UNWTOと3回共同開催したことがあったTourism Schoolは観光分野の公務員たちが共にする立派な観光教育の場として役割を果たしている。



台南, 中华台北

TPO事務局、2012アジア都市観光サミット参加

TPOチュ・ファンミョン事務総長とイ・ソジョン企画チーム長は、2012年12月6日から9日まで中华台北台南市で開催された2012アジア都市観光サミットに参加した。韓国、日本、ベトナム、マレーシア、そして中华台北、計5ヶ国の10都市余りが参加した本行事は、観光分野の持続可能性を模索して都市間の協力を増進させるために開催された。

本サミットでチュ・ファンミョン事務総長は、頼清徳台南市長との面談を通じて、今後TPOと台南市との協力案について模索し、本行事に演説者として参加し、文化観光と農村観光に対する汎都市的な次元での意見も陳述した。

アジア地域の都市が集まってお互いの友好を増進し、協力案を模索する交流の場だった本行事は、引き続き中华台北内の他の都市で開催される案について議論されている。

03 March 2013

Festival Calendar



インドネシア ジャカルタ 13月 1~3日

ジャバジャズフェスティバル

場所 ジャカルタ国際エキスポ

今年で9回目を迎えるアジア最大規模のジャズフェスティバル。有名ミュージシャンから地元のミュージシャンまでが一堂に会し、メインのジャズをはじめとする、クラシックを除くほぼすべてのジャンルの音楽が公演される。今年はイギリスのR&B歌手、リサ・スタンスフィールド、ジョーストーン、ポーランド出身のバシアなどが特別出演する予定だ。



韓国 済州島 13月 8~10日

済州野焼き祭

場所 済州市涯月邑鳳城里

農業用に飼っていた牛を農閑期に放牧させ、牧草を食わせていた済州島では、冬から春にかけて、野焼きをして害虫駆除する習慣がある。現在も、済州野焼き祭りとして受け継がれており、今年1年の無事と健康を祈願する日として、島民をはじめとする多くの人に親しまれている。



チャイニーズタイペイ、台南 1

3月 9~18日

台湾国際蘭博覧会

場所 台湾オーキッドプラテーション

台南で開催される世界3大博覧会のひとつ。多種多様な蘭が鑑賞できる国際的な貿易プラットフォームで、国内外のバイヤーをはじめとする観覧客約26万人が訪問する。期間中は、世界的に有名な蘭専門家がパネラー参加する国際蘭シンポジウムや、蘭の競りショーなどが開かれる。



中国、広州 1

3月 18~21日

中国国際家具博覧会

場所 広州インポート&エクスポートフェアコンプレックス

毎年春と秋の2回にわたって開かれるアジア最大の家具博覧会。現地の中国をはじめ、世界の有名な家具会社が一堂に会し、現代式の家具からクラシック、野外用、乳児用など、さまざまな家具が展示されるので、海外の有名家具のトレンドやデザインが一度に把握できる絶好のチャンスだ!



インドネシア、スラバヤ 13月 20日

クラパンサピ

場所 スラバヤ地域一帯

インドネシア伝統文化遺産であるカラパンサピは、牛の速さを競うレースで、イーストジャバに来たら必ず観戦したい名物のひとつ。トーナメント形式で進められるレースは、牛を走らせるジョッキーの迫力ある姿も手伝い、大盛り上がりとなるので、インドネシアの熱気と興奮を体験したい人におすすめ。



韓国、光州 13月 29日~4月 7日

光州春花博覧会

場所 金大中コンベンションセンターおよび野外一円

春の訪れを知らせる「春の花博覧会」が、光州にて10日間にわたって開催される。テーマは「花の香りに包まれた童話の国」で、バラ園、チューリップ園、葉草園など、約20におよぶさまざまな庭園を見学できる。会場内では、約60社による草花用品ブースと会場内の案内サービスブースが、約100か所設置される。このほか、草花に関する専門講座や各種体験イベントも開かれるので、興味があればぜひ参加してみよう。



チャイニーズタイペイ 高雄 1

3月 30日~4月 7日

高雄 宋江陣

場所 ネイモーン帯

清の時代、盗賊を撃退するために村民たちが自衛隊をつくって対抗したことに由来した祭り。チャイニーズタイペイきっての伝統寺で開かれる行事の一つでもある。太鼓などが鳴り響く中、刃や矛、盾、こん棒を持った兵士が行進したり、戦闘の様子を再現したりする、さまざまなショーを見学することができる。

04 April 2013



韓国, 昌原 4月 1日~10日

鎮海軍港祭

場所 中國ロータリーおよび鎮海一帯

桜が満開になる4月初旬に、約10日間にわたって鎮海で開かれる軍港祭。36万本の桜が開花し、辺り一帯が桜色に染まる祭り期間中は、お花見だけでなく、公式イベントの勝戦行事や追慕大祭をはじめ、軍楽隊によるパレード、韓流スターコンサート、花火ショーなど、さまざまな行事が開催される。

タイ バンコク

4月 13日~15日

ソンクラーン祭り

場所 バンコクカオサンロード一帯

ソンクラーンとはタイ式カレンダーにおける新年。ソンクラーン祭りは新年を祝い、祝福を祈る目的で水を掛け合うため、「水掛け祭り」とも呼ばれる。祭り期間中は、街のあちこちで老若男女が童心にかえり、水鉄砲で水をかけあう風景を見ることができる。



中国, 上海

4月 21日~29日

上海モーターショー

場所 上海新国際エキスポセンター

中国の経済首都である上海で開かれるモーターショーで、テーマは「イノベーション・より良い生活」。15回目となる今年は、中国自動車産業のイノベーションと、環境保護を考慮した最新型の自動車が社会にもたらすより良いライフスタイルについての展示が行われる。アメリカのゼネラルモーターズ、ドイツのフォルクスワーゲン、フランスのプジョー、日本のトヨタなど、世界的な自動車会社が参加する予定。



韓国, 蔚山

4月 25日~28日

蔚山クジラ祭り

場所 太和江および長生浦一帯

1995年に長生浦の村祭りとして始まった蔚山クジラ祭りは、現在、蔚山を代表する祭りとして親しまれている。

先史人のファッションコンテストが開かれたり、先史人リアル家族体験などができたりする「先史体験村」、大型クジラの模型と捕鯨船を浮かべ、グラフィックや照明などを駆使して披露する水上ショー「先史捕鯨再現」、「パフォーマンスパレード」などのイベントが開催される。



韓国, 済州 4月 5日~7日

済州桜祭り

場所 済州総合競技場一帯

華やかなソメイヨシノを見ながら、新春の宴を楽しんで見てはいかがだろうか。暖かい済州島は、韓国で最も早く桜が開花する地域だ。中でも総合競技場一帯では、済州島の自生種、ソメイヨシノを觀賞することができる場所だ。期間中は、開幕祝賀ショーを皮きりにソメイヨシノファッションパフォーマンスなど、さまざまなイベントが開催されるほか、ソメイヨシノテーマ館、観光館、環境館などで展示も行なわれる。



フィリピン, マニラ

4月 11日~13日

アリワンフィエスタ

場所 フィリピン文化センター一帯
(Cultural Center of the Philippines)

7107つの島からなり、多様な文化と伝統が共存する国、フィリピン。そんなフィリピン各地の祭りから宗教、文化までが一堂に会す祭りが、アリワンフィエスタだ。メインイベントは、華やかな衣装を身にまとい、部族や原住民が踊りながら行進する路上ダンスパレード、美人コンテスト、馬車行列など。コンテストの受賞者には賞金が授与される。



日本, 長崎 4月 25日~29日

長崎帆船まつり

場所 長崎港

国内外のさまざまな帆船が集結する日本で随一の帆船イベント、長崎帆船まつり。期間中は帆船が真っ白な帆を広げる「セイルドリル」、船内の見学ができる「船内一般公開」、帆船に乗って長崎港内をクルーズする「体験クルーズ」などが女神大橋のふもとで行なわれる。

05 May 2013



韓国, 全州 5月2~5日
全州韓紙文化祭り
 場所 全州伝統文化館一円

全州韓紙文化祭りは、千年の歴史を持つ全州韓紙の素晴らしさをより広く知らせるために行われるイベント。優れた工芸職人の発掘と、全州韓紙工芸の発展を目的に開催される伝統韓紙工芸コンテストをはじめ、韓紙作り体験、韓紙ファッションショーなど、さまざまなプログラムが企画、運営されており、韓紙の魅力を余すところなく伝えている。



日本, 下関 5月3~4日
しものせき海峡祭り
 場所 下関関門海峡一帯

しものせき海峡まつりは、関門海峡を舞台に繰り広げられた史実を基にした、歴史情緒豊かな祭り。期間中は、源平壇ノ浦の合戦で滅びた平家一門を偲ぶ豪華絢爛な「先帝祭」、数十隻の船に鎧武者が乗り込み、源平両軍の紅白ののぼり幟をたなびかせて行われる「源平船合戦」、人柱となって下関繁栄の礎となった「お亀さん」を偲んで行われる「八丁浜総踊り」など、さまざまなイベントが行なわれる。



日本 福岡 5月3~4日
博多どんたく港まつり
 場所 福岡市内

博多どんたく祭りは、春の訪れを知らせる九州の代表行事で、毎年約200万人が訪れる。約830年前の祭り、博多松囃子が博多どんたくの起源で、これを発展させ、今の祭りになった。祭りのハイライトは、市民がしゃもじを持って呉服町交差点から天神交差点までの1230メートルを歩く、どんたくパレード。



インドネシア スラバヤ 5月5日
文化と花のパレード
 場所 英雄記念碑、スラバヤ市庁一帯

毎年5月になるとお祭りムード色になるインドネシア第2の都市、スラバヤ。5月5日に開かれる文化と花のパレードでは、色とりどりの花で装飾された車や伝統衣装に身を包んだ人々がパレードをしながら、インドネシアの文化を披露する。パレードの後には、スラバヤ720周年記念の様々なイベントが開催される。



韓国, 春川 5月19日~26日
春川マイムフェスティバル
 場所 春川一円

言葉を使わず、身ぶりや表情だけで表現するパントマイムをテーマにした祭りで、フランスのミモスパントマイム祭り、イギリスのロンドンパントマイム祭りとともに世界3大パントマイム祭りとして有名。春川の守護神である水神が火神と一戦を交える話し「あ！水羅場」、本能と欲求、個人の内面を抑圧する時代のタブーを題材にした「狂った金曜日」、韓国のおぼけであるトッケビをテーマにした「トッケビナンジャン」などの演目が公演される。今年はおかつて米軍基地だった場所で開催されることが決定した。



マレーシア コタバル
 5月28~6月1日
ケランタン国際凧揚げ大会
 場所 トゥムパークゲッティングビーチ

マレーシアの東海岸で開催されるイベントで、毎年5月になると、全世界の凧愛好家がトゥムパート地域に集まり、凧上げを楽しむ。ワウブランと呼ばれる、三日月型の凧を作って飛ばすのが伝統。ワウブランはマレーシア航空のロゴにも使われている、マレーシアを象徴する形である。



韓国, 南海 5月30日~6月2日
宝島ニンニク祭り
 場所 宝島にんにくの国一円

ニンニクを見たり、触ったり、感じたりと、五感を使って楽しむ宝島ニンニク祭りが、毎年5月に、南海郡二東面宝島ニンニクの国で開催される。南海の名物であるニンニクの優秀性と、環境にやさしい南海の農産物を広報するためのイベントで、創作マダン劇をはじめ、ニンニクおばさん選抜大会、全国シルバー体操競演大会など、さまざまなプログラムが開催される。



台湾のチュ・チェン高雄市長

都市の美学 高雄

高雄は、港町である利点を十分に活かし、海洋アクティビティや、新鮮でリーズナブルな海産物、白い砂浜が続くビーチリゾートなどが存分に楽しめる、台湾の穴場とも言えるスポットだ。都市と休養地の両方の特性を備えているため、最近はバカンス先としても人気。そんな注目の街、高雄のこれから進むべき方向性と、今後のビジョンについて、チュ・チェン市長に話を聞いた。



TPO会員都市関係各位に向けて、高雄市の紹介をしてください。

台湾第二の都市である高雄は、台湾南部に

位置する港町です。柴山や半屏山といった美しい山々や、蓮池潭風景区、愛河をはじめ、海水浴場、海岸公園、灯台、要塞、新鮮な海産物が味わえる旗津風景区など、数多くの観光スポットを保有しています。

1998年に開港した高雄港は、北東アジアのハブ港湾としての役割を果たしており、貿易と商工業の街としても発展し続けています。潮の香りと文化ロマンが漂う高雄にぜひお越しください。お待ちしております。

最近、高雄市は「高雄－台湾旅行の最初の滞在」とのスローガンを掲げ、積極的なマーケティング活動を行っていますが、スローガンについての説明をお願いします。

「高雄－台湾旅行の最初の滞在」とは、言葉の通り、台湾にお越しくださった際、最初に訪れたいと皆さんに思っただけの場所になるように、との願いを込めて作りました。高雄国際空港もしくは高雄港を降り立ち、この街に足を一歩踏み入れた瞬間から、高雄を立つ時まで、観光客であれ、ビジネス客であれ、100%ご満足いただけるよう、努力してまいる所存です。

市長が高雄市を訪れる旅行者におすすめしたいアトラクションは何ですか？

古くからある人工湖、蓮池潭の近くにある孔子の墓や、中国式の石塔である龍虎塔、戦の神に献納した宮殿式楼閣の春秋閣など、高雄ならではの魅力的な史跡はぜひ訪れていただきたいです。また、川のほとりのカフェで香り高いコーヒーを楽しんだり、川を行き来している小型の遊覧船に乗ったりするのもおすすめです。このほか、エネルギーな六合夜市も高雄きっての観光名所なので、ぜひお立ち寄りいただきたいです。蓮池潭風景区で自転車やバイクをレンタルして島を一周したり、Pier-2 Art Centerでコンテンポラリーアート作品を鑑賞したり、幻想的な夕日が望める西子湾も忘れてはいけませんね。こうして色んな観光地を巡った後は、足マッサージの始まりと言われている高雄の元祖足マッサージ店で、疲れた足を癒していただきたいです。

アメリカ旅行情報サイトBootsnAllの「世界15の美しい地下鉄駅」に選ばれた美麗島駅、中央公園駅も移動の際にぜひ立ち寄ってみてください。日本の建築家、高松伸がデザインした大規模な天井画を鑑賞することができます。お土産を買うならば、ベーカリーショップ呉宝春麦方店やタカオケーキ店に行くと、台湾ならではのおいしいスイーツが買えます。

2013年は、アジア・太平洋都市首脳会議の開催をはじめとする、さまざまなスペシャルイベントが高雄で開催されると伺っています。どんなプロジェクトが推進中なのか、簡単に教えてください。

2013年は、高雄にとってとても重要な年になるでしょう。9月9日～11日に行われるアジア・太平洋都市首脳会議のほか、世界最大規模のワインコンクール、モンドリアルトゥブリュッセルも6月6日～9日に開かれます。初のアジア開催とあり、全世界約50名のスターソムリエが高雄に集結します。このほか、毎年春には、高雄インターナショナルマラソン、5ヶ国70チームの公演・音楽・アート・カルチャーが体験できる高雄スプリングアートフェスティバルも開催されます。

中でも最も期待されている行事といえば、アジア・太平洋都市首脳会議ではないでしょうか？

「2013アジア・太平洋都市首脳会議」が9月9日から3日間にわたり、高雄アリーナで開催されます。「都市経済学の再編-都市の挑戦と解決課題」とのテーマで開かれる今回の会議には、アジア・太平洋地域約100カ国の都市の市長、副市長など、総勢1000名が参加します。2年ごとに開かれるAPCSは、国際ビジネスおよび都市問題を扱うフォーラムで、今年は、環境にやさしい技術および産業についてのビジョンや、アジア太平洋都市首脳会議参加都市間の相互協力および友好増進が宣言される予定です。



最後に高雄の今後の展望についてお聞かせください。

建物を単に構造物や住居とだけとらえず、一つの芸術作品、彫刻、絵画、美しい総合デザインギフトセットと考えみてください。New Bay地域に建設されている高雄展示場、コンベンションセンター、高雄海洋カルチャー&ミュージックセンター、高雄港湾ターミナル、高雄公共図書館は、すべてこのような原理を基にデザインされたものです。これらの美しい建築物が、高雄の新しいランドマークとなり、豊かな文化的感性と港町としての活力を、さらに高雄に引き寄せてくれるだろうと確信しています。

